日本学生支援機構給付奨学生の推薦基準

奈良県立平城高等学校

独立行政法人日本学生支援機構（以下「機構」という。）の募集する給付奨学生採用候補者については、本推薦基準に基づき、学内に設置する給付奨学生採用候補者選考委員会に諮ったうえで、機構から示される人数の範囲内で基準該当者を選考し、機構に推薦するものとする。

(1) 人物について

学習活動その他生活の全般を通じて態度・行動が本校生にふさわしく、進学の実及び進学後の人生設計が明確であり、将来良識ある社会人として活動できる見込みがあること

(2) 健康について

定期又は臨時の健康診断等により、修学に耐え得るものと認められること

(3) 学力及び資質について

下記の①、②のいずれかの要件を満たしていること

ただし、①に該当するものを優先する

- ① 調査書における学習成績概評が「A」の者
- ② 調査書における学習成績概評が「B」で、次のア～ウのいずれかに該当する者
 - ア：平城高校生の模範となりうる生徒である
（校則を遵守し、出欠状況等日々の生活において模範となる過ごし方をした）
 - イ：クラブ活動または生徒会活動を通して、文武一貫を果たした生徒である
 - ウ：ボランティア、地域活動等に積極的に参加し、社会に貢献した生徒である

(4) 家計について

生計を維持する者が、以下の①、②のいずれかに該当し、生活環境などを勘案して、親権者からの支援が見込めない等、その者の進学が非常に困難な状況にあると認められること

- ① 家計支持者（2人いる場合は2人とも）が個人住民税（市町村民税）所得割を課されていないこと（奨学金申込年度の課税証明書に記載の所得割額が0円であること）
- ② 生活保護を受給していること（奨学金申込日現在において保護費を受給していること）